

＝保護者からの点検評価＝

評価者 平成 29 年度 PTA 酒井貴康

《生徒指導面》

私が中京高校のキャンパス内へ伺うと、すれ違う生徒が必ず「こんにちは」と挨拶をしてくれます。時には、車でキャンパス内に入る前から会釈をしてくれます。しかも、ほとんどの生徒が笑顔です。ただ挨拶をするのは強制すれば出来ると思いますが、笑顔で挨拶ができるのは、生徒たちの内面や学校生活が充実している証であるからだと思います。

地元地域の方々とも、バサラカーニバルの参加や清掃活動の参加等を通じて交流を図り、地域に根ざした高校であると思います。

《進路指導・学習指導面》

進学については、エクシード、プロシードクラスを中心に四大、短大合わせて 410 名が進学しています。その中で 保護者の方の話として、「放課後コースでの勉強により、塾に通わなくてもよかった。」という意見も多くありました。

ある生徒に話を聞いたときは、わからない所を聞きに行くと、「先生が丁寧に教えてくれる。」と言っていました。これは教職員の方々が、生徒達と気軽に何でも相談できる信頼関係を作り上げているからだと思います。今後は、高校全体の学力レベルアップに期待します。

就職については、地域を問わず多くの企業さまから求人を頂いており、各企業の即戦力となれるような基礎知識、基礎学力、社会常識を身につけられる様な教育をお願いします。

《課外活動面》

部活動については、強化部を中心に県内はもとより、全国で上位を狙えるチームや個人が育っていることは、保護者としてとても誇りに思います。先生方の負担も大変かと思いますが、生徒たちが活躍し自信をつける機会も増えると思います。今後とも、きめ細かい指導をよろしくお願いいたします。

ただ一つお願いをするならば、各部活の指導スタッフの潤沢化です。生徒数に対して指導スタッフが不足している部活があるように思われます。

《通信制課程について》

近年は、個々の諸事情により全日制高校へ入学できない生徒も多く、高校卒業資格を得られないケースがあります。このような時代背景の中、中京高校通信制課程は生徒達の最大の目的である高校卒業資格の取得を、多方面からサポートしてくれます。

今後は、通信制課程の持つ役割がさらに大きくなると予想され、中京高校通信制課程が果たすべき役割は大きいと思います。

このような生徒達に、門戸を開いている中京高校の取り組みは、非常に評価できると考えます。

《最後に》

一保護者から見て、今の中京高校は生徒、保護者、先生が地域と連携を図り、非常に安定した状態にあると思います。この状況に甘えることなく、1 ランク上の高校を目指してください。

